

|  |   |                          |        |                      |
|--|---|--------------------------|--------|----------------------|
| 科目名<br>Course Name   |   | 開講年次                     | 開講学期   | 曜日・時限                |
| 英語基礎教養<br>The Fundamental Culture in English   |   | 1年                       | 前期     | 別途、時間割参照             |
| 単位数  | 授業の形態                                   | 授業の性格                    |        | 履修上の制限               |
| 1単位  | 演習                                      | 選択                       | (特になし) | 基本的な英会話等の英語学習に興味のある者 |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目   |   |                          |        |                      |
| 特になし   |   |                          |        |                      |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目   |   |                          |        |                      |
| 特になし   |   |                          |        |                      |
| 担当者に関する情報  |   |                          |        |                      |
| 氏名   | 研究室の場所                                  | オフィスアワー                  |        | 電話番号・メールアドレス         |
| 佐藤秀一   | 本館2階                                    | 水曜日11:00~16:00 (授業時間を除く) |        | 授業中に指示します            |
| 授業の概要  |   |                          |        |                      |
| リスニングとリーディングを軸に、英語の運用能力をバランスよく伸ばし、英語によって自分の考えを「伝える」方策を身につけることにある。聴くから話すへ、読むから書くへと繋がるタスクを進めながら、読む、聴く、書く、話すの言語の4技能を無理なく学習できるようにする。   |   |                          |        |                      |
| 授業の目標  |   |                          |        |                      |
| ①聴き取りのポイントを説明できるようにする。<br>②60語程度の会話文のディクテーションによる「聴き取りのポイント」の定着と日常会話表現を習得できるようにする。<br>③英語らしい発音の基本を学ぶことで、会話表現を話し相手に理解できるように正しい発音で話ができるようにする。<br>④話す場合と書く場合の双方のコミュニケーションのあり方、構造が説明できるようにする。<br>⑤発信活動のために必要な最低限の基本的な英文法を理解し、使うことができるようにする。 |   |                          |        |                      |
| 授業の方法  |   |                          |        |                      |
| 授業形態は演習の形式で行う。基本事項を各ユニットごとに確認し、までする会話の語彙や文法、発音の注意点など確認する。テキストの会話文を暗誦し覚え、ペア/グループワークで使う練習をする。100語程度の文章を全体の概要と論理構造を意識しながら大意を把握し、ペア/グループワークでディスカッションして確認して発表する。  |   |                          |        |                      |
| 学習の成果 (学習成果)   |   |                          |        |                      |
| ①英語特有の発音の基本を体得し、リスニングやスピーキングに役立てることができる。<br>②場面に応じて、聴き取りのポイントを身に付けることで、内容のある英語の発音も聴き取れる。<br>③会話を行う上で利便性の高い語彙や基本的な表現を、用例を通じて学び、自然に発話できる。<br>④短い英文であれば、身近な話題、知的な話題を問わず、大意を把握し説明できる。  |   |                          |        |                      |
| 授業のスケジュールと内容   |   |                          |        |                      |
| 第1回目   | Unit 1 日常生活 基本的な数字の聴き取り be動詞と一般動詞       |                          |        |                      |
| 第2回目   | Unit 2 人間関係・コミュニケーション 時間・日付・年号に聴き取り 代名詞 |                          |        |                      |
| 第3回目   | Unit 3 言葉・文化 聞き分けにくい音の聴き取り 否定文          |                          |        |                      |
| 第4回目   | Unit 4 健康・医療 カタカナ語とのギャップ 疑問の基本          |                          |        |                      |
| 第5回目   | Unit 5 職業・キャリア 短縮形の聴き取り 過去形の基本          |                          |        |                      |
| 第6回目   | Unit 6 ファッション つながる音 進行形の基本              |                          |        |                      |

|       |  |
|-------|--|
| 第7回目  | Unit 7 旅行・観光 消える音 未来を表す表現                    |
| 第8回目  | Unit 8 スポーツ イントネーション（上昇・下降） 現在完了形            |
| 第9回目  | Unit 9 レジャー・インタメ 写真や絵を見ながらの聴き取り 助動詞の基本       |
| 第10回目 | Unit 10 アート あいさつ文の聴き取り 動名詞の基本                |
| 第11回目 | Unit 11 食 誘う時の表現 不定詞（名刺的用法）                  |
| 第12回目 | Unit 12 ビジネス 依頼するときの表現 不定詞（形容詞/副詞的用法）        |
| 第13回目 | Unit 13 サイエンス Yes/No疑問文とその答え方 受動態の基本         |
| 第14回目 | Unit 14 産業・テクノロジー Wh-疑問文とその答え方 前置詞の基本        |
| 第15回目 | Unit 15 環境 付加疑問文の聴き取り 接続詞の基本 まとめと振り返り レポート提出 |

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

成績評価の方法と基準

| 評価の領域      | 割合  | 評価の基準  |
|------------|-----|--|
| 授業参加態度     | 30% | 毎回の授業で英語で発言、発表する機会を設ける。進んで積極的に自分の思い・考えを述べ、また、しっかり取り組んでいるか評価する。 |
| レポート       | 10% | 出題者の意図した課題に合致したレポートになっている。                                     |
| 調査報告書      |     |  |
| 小テスト       | 10% | 発表・筆記形式で、当日の内容について小テストを行う。授業への取り組みを評価する。                       |
| 試験         | 40% | これまでの授業で学習してきたことが身についている。                                      |
| 発表内容（態度含む） | 10% | 暗誦した会話を発表する。学習した会話が生きた言葉として実際に使えるようになっているか。                    |
| その他        |     |  |

教科書と参考図書

|                         |
|-------------------------|
| TARGET! Elementary（金星堂） |
|-------------------------|

履修上の留意点・ルール

|  |
|--|
| 自分の達成目標を設定し、それに向かって励んでください。そのことにより真の学ぶことの喜び、楽しみが生まれます。 |
|--|